

中島 警子（音楽監修）

箏を宮城道雄・須山知行に師事。1947(昭和22)年、須山知行とともに桐絃社を結成し、関西で宮城箏曲を広める重要な役割を担ってきました。オーケストラとの協演による「グランド箏コンサート」など意欲的な演奏会を開催。「宮城道雄をしのぶ箏の夕べ」には1973(昭和48)年の第1回以来、出演ならびに音楽監修をしています。

レコード・CDでは「須山知行・中島警子名演集」などを発表、高い評価を得ています。

文化庁芸術祭優秀賞(1983)、大阪文化祭本賞(89)、地域功労者文部科学大臣賞(2002)、守口市有功者賞(16)など受賞多数。2014年春、旭日双光章受章。現在、箏曲宮城会名誉理事・近畿支部監事、大阪音楽大学名誉教授、守口三曲協会会長、桐絃社主宰。

桐 絃 社

宮城道雄直門の須山知行・中島警子により1947(昭和22)年に結成されました。以来70年以上、門人育成と演奏活動に取り組んでいます。演奏団体とし



▲ 第49回 宮城道雄をしのぶ箏の夕べ (2024年)

日にちなみ、それに近い日程で毎年開催してきました。第1回以来、宮城師の直弟子であった須山知行・中島警子の両氏に企画監修をお願いし、演奏も両氏が率いる桐絃社社中を主軸にしてきました。連続49回開催は、同一出演者による同一シリーズ演奏会として、大阪新音で最長です。

しかし、諸般の状況により、今回の第50回をもってむすびとします。これまでご支援くださいました皆さまに感謝の心を込めて演奏いたします。お誘いあわせてのご来場をお待ちしております。

大阪新音

《桐絃社創立者》



須山 知行氏
(1918～2009)



中島 警子氏

では、創立以来、宮城道雄師の遺志を受け継いで箏と管弦楽との協演や、和楽器による大合奏などに社中を挙げて取り組んでいます。「宮城道雄をしのぶ箏の夕べ」には第1回から毎回、演奏陣の主軸として出演しています。

それら「多年にわたる文化芸術の向上への尽力」が認められ、2007(平成19)年5月、大阪府から知事表彰を受けました。

箏曲宮城会近畿支部

宮城道雄の門人により、演奏技術の向上と親睦を図る目的で1951(昭和26)年に結成された箏曲宮城会の、近畿地区組織です。57(昭和32)年発足の近畿宮城会を改組し、70(昭和45)年に「箏曲宮城会支部」となりました。近畿在住、または活動している宮城一門の職格者で構成し、楽曲の研究会や定期演奏会などを行っています。

「宮城道雄をしのぶ箏の夕べ」には、前回(第49回、宮城道雄生誕130年記念)に続き今回も、同支部会員有志に協力出演していただきます。

「宮城道雄をしのぶ箏の夕べ」は、“現代箏曲の父”と讃えられている宮城道雄師の業績と作品を伝える目的で、1973(昭和48)年6月、大阪新音(当時は大阪労音)主催で始めた演奏会です。宮城師の命日(6月25